令和５年度　倫理審査委員会

【第１回　倫理審査委員会　令和５年９月 15 日（金)】

申請番号　　5-1
申 請 者　　呼吸器内科医師　中野　哲治
申請課題　　高齢者肺炎における肺結核の早期診断に資する研究―高齢者における肺結核予測因子の有用性―

研究概要：　　従来報告される肺結核予測因子が、高齢者肺結核でも有用な予測因子として機能するのかを検証する。

判　　定：　「承　認」

【第２回　倫理審査委員会　令和６年２月７日（水)】

申請番号　　5-2
申 請 者　　神経内科医長　花岡　拓哉
申請課題　　後期パーキンソン病の予後に関する多施設共同前向き研究

研究概要：　パーキンソン病はアルツハイマー型認知症に次いで有病率の高い神経変性疾患で、加齢とともに増加し、人口全体の高齢化に伴い激増することが懸念されいる。パーキンソン病の研究あるいは臨床試験は早期診断・治療に焦点が当てられ、それらに該当しない後期パーキンソン病に関するエビデンスは乏しい。わが国は世界一の長寿国であり、かつ世界で最も高齢化率（総人口に占める 65 歳以上の割合）が高く、パーキンソン病の増加が予想されるにも関わらずわが国における後期パーキンソン病のデータは存在しない。
本研究では、後期パーキンソン病疾患を対象とし、運動機能、認知機能、栄養状態、QOL、介護の状況を評価する。さらに機能予後、生命予後、イベント発生（肺炎、骨折、入院を要する合併症、施設入所）を前向きに調査し、症例登録時との関連を検討する。

判　　定：　「承　認」